

第2回地域関係者・学校関係者ワークショップでの意見一覧

凡例／青文字：学校関係者WSでの意見、赤文字：地域関係者WSでの意見、紫文字：両方のWSで共通して出た意見

①学校とコラボセンターの連携

連携や一体化が重要

- ・一体的に利用できるよう、できるだけ離さない。(C・D)
- ・間に出会うスペースも必要。(B)
- ・建物をつなぐ演出として、提灯等でお祭りの雰囲気を出す。
- ・直接的に繋がっているほうが往来する気になる。(D)
- ・完全に一体化してはどうか。

防犯に配慮

- ・防犯上うまく分けながら、一体感をつくりたい。(C)
- ・見ず知らずの人が学校に侵入しにくくする。(C)
- ・近過ぎるのは不安。間に道があり少し離れる方がいい。(C)
- ・近すぎるのは心配。間にフェンスが必要。(B)
- ・コラボと学校の動線はセキュリティが必要。

プランなどの課題（期待）

- ・子供の居場所になるカフェ、図書館、放課後クラブが隣接。
- ・正門の位置も含め、防犯はプランを見て判断したい。
- ・家庭支援・福祉相談を2階、3階を児童生徒の空間に。(C)
- ・一体化は、引きこもりの子にとって好ましくない。
- ・図書館機能の連携。
- ・絆ひろばの活用。

②あいさつロードの位置

変えないほうがいい

- ・昔からの道なので変えにくい。変えるなら地元説明が必要。
- ・上田病院に行く高齢者が多い。動かすと病院が遠くなる。
- ・東側だと利便性が悪い。穂積菰江線に近いと意味無い
- ・防犯上、学校とコラボはあいさつロードで分けたい。(C)

変えてもよい

- ・南側の一部の住民が駅に行くのに使う。東側でも不便ない。
- ・D案は東側住宅の緩衝帯になり、騒音低減のプラスもある。
- ・D案は敷地が分割されないので、敷地の有効利用しやすい。
- ・東に移動しても、緑道との連携というプラスもある。(D)
- ・位置変更は住民の反対があるので慎重な調整が必要。(D)
- ・生活動線として必須、自転車も多いが、頻繁ではない。
- ・東側は凸凹して使いみちがないので東側でいい。(D)
- ・学校敷地は一体がよい (D)
- ・学校とコラボCの間にあると不登校の子も来やすい (C)
- ・動かすことの影響は少ないのではないかな。
- ・学校機能の分断は避けたい。
- ・北側に学校、南東側にコラボCを設けたらどうか。
- ・あいさつロードは不要。

③あいさつロードの賑わい創出

交流を促進する

- ・ロードを通りながら、学校やコラボCと交流を生む。(C)
- ・ロードを中核にしたコミュニティで地域を活性化。(C)
- ・アクセスしやすく、学校とコラボCの賑わいが創出。(C)
- ・それぞれの施設がよく見える位置に設けるべき。
- ・地域に発信する情報ボード、アートなどを設けたらどうか。
- ・コラボCの1階にオープンスペースを設けて入りやすくする。(C)
- ・ロードの北側に広場をつくり立ち寄り易くする。(C)

見守りやすさ

- ・C案は人の目があり、放課後も子供達をみんなで見守れる。

④校舎とグラウンドの関係

行き来のしやすさ

- ・一体配置が子ども達にとって一番使い易い。(C)
- ・安全面、利便性から繋がっているのが第一。(C・D)
- ・隣接させることで、生徒の利便性を上げたい。(C)
- ・ロードをまたぐ場合は、2階をつないで、水平移動がいい。
- ・直接行き来でき、学校の防犯も確保したい。(C・D)
- ・分断される場合は、広いブリッジやｽｰﾌﾟで行き来を楽しく。
- ・児童・生徒の移動に負荷がかからないようにする。
- ・ブリッジは2本設け、集会などの移動に問題を無くす。
- ・あいさつロードはエレベーターも付けて立体化する。
- ・校舎→体育館→グラウンド→プールへの動線はアクセスの良さ、視認性の良さが重要。(D)
- ・校舎から直接の行き来。(D)

防犯・防災に配慮

- ・グラウンドに先生の目が届かない・遠いA・B案は避ける。
- ・避難時は（ブリッジを介さず）校舎から直接出る。(C)

⑤学校の顔づくり

- ・現在の学校は顔がない。魅力ある顔、正門が欲しい。
- ・学校が主動線の北側道路から存在が見えないのは問題。
- ・学校とコラボセンターの顔をつくる点からC案が良い。
- ・駅から来たときにアピールできる目立つデザインに。(C)
- ・梅花の円形校舎のようなインパクトのあるデザインに。(C)
- ・学校玄関を北側に。垂れ幕を地域へのアピール。(C)
- ・学校の顔が北側にもあり、かつ体育館も校舎と近接する案が良い。(C案を基本に体育館を校舎側に)
- ・コラボセンターを縦にして学校と共に北側の顔に。(D案)

⑥安全・安心

通学動線

- ・敷地に接する道路は安全上、すべて歩道を整備すべき。
- ・児童生徒は3倍。アクセスとなる北側道路は拡幅する。
- ・南側道路は子供たちが広がって歩く。交通量を増やさない。
- ・北側道路、穂積菰江線との交差点は見通しを良くしたい。
- ・車の出入口・通用門は歩車分離する。
- ・コラボCの駐車スペースが北側交差点にあり危険。(D)
- ・学校へのアクセスは児童生徒の多い北側から。
- ・正門の位置は北と南に設けたい。
- ・門は2、3箇所に分散した方がいい。
- ・門の前に生徒溜りのスペース。
- ・あいさつロードに面した学校への出入口。

防犯

- ・あいさつロードから学校・コラボを見守れる視認性を。
- ・グラウンドが外から見えるようにすべき。
- ・学校の1階は視線が抜ける工夫を。
- ・コラボCがあることでの防犯性の高まる備えが必要。
- ・学校内に生活動線が通るのは危険。管理も困難。

防災

- ・体育館とグラウンドは隣接。離れるなら運動場に拠点機能。
- ・大型車両が北側からもグラウンドへアクセスする。
- ・水害対策で、防災（避難）上必要な機能は2階以上に。
- ・この敷地で水害は聞いたことが無い。地下利用も可能では。
- ・水の確保のため、運動場の地下に貯水施設を設ける。

⑦グラウンド

なるべく広く（グラウンドが狭い）

- ・六中ではなかったテニスコートを整備したい。
- ・外周を走れるようにする。
- ・11,000㎡で十分に活動ができるのか。
- ・グラウンドを広げるため、EVを付けてでも校舎は高層化。
- ・あいさつロードの上部も運動場として利用できないか。
- ・グラウンドが狭いなら、体育館に走路やジムなどを設ける。
- ・建物を高度利用する。体育館を上積みで高層化する。
- ・全てのクラブが活動できるように、立体運動場をつくる。
- ・11,000㎡で200mトラックなら満足できる。
- ・立体利用・屋上利用含めなるべく広く。
- ・保健室を近くに。緊急車両の動線も必要。

サブグラウンドについて

- ・体格差に配慮し、低学年（又は学童）用の遊び場とする。
- ・運動場とは別に独立させて設けたい。
- ・グラウンドは中学生がクラブで使うので、分けて設ける。
- ・体育の時間でも使えるようにもう少し広く欲しい。

⑧体育館

校舎と一体にする

- ・学校だけ考えると、体育館も敷地一体になるD案が良い。
- ・校舎を高層化して体育館を一体にする。(C)
- ・トンネルでつなぎ体育館を一体にする。
- ・体育館の下に、放課後クラブや学童の居場所も考える。
- ・体育館とグラウンドが一体なら職員室見守りやすい。(D)
- ・グラウンドと近いと急な雨や避難時に活用しやすい。(D)
- ・学校機能は一体化したい。(D)
- ・体育館は集会機能があり、直接の行き来が重要 (D)
- ・体育館は水害対策上2階なのでブリッジ移動 (B・C)
- ・防犯上グラウンドと近いほうがいい。
- ・避難の点から校舎・グラウンド・体育館は一体整備。
- ・1階放課後クラブ・2階武道場・3階を体育館に。

コラボセンターとの連携も

- ・コラボCと機能連携させる。(C)
- ・コラボCを高層化して、コラボCと一体にする。
- ・校舎と分離し、コラボCに近いことで地域開放もしやすく、管理区分も明快。(C)

⑨プール

設ける位置について

- ・地震時に最上階は不利。水が漏れたら建物が水浸しになる。
- ・コラボCに設ける。地域開放もしやすい。

計画上の課題

- ・暑さ対策のため屋根を設ける。
- ・床は昇降式に。プールサイドまで上げてイベントも。

⑩駐車場・駐輪場

- ・駐車場が狭いのではないかな。広くしてほしい。
- ・駐車場は地下にして学校・コラボCを広くする。
- ・車は北東側から集中する。渋滞なくスムーズに入れる。
- ・上田病院には救急車も停車。病院付近の駐車場は避ける。
- ・駐車場は40台もあれば充分。
- ・自転車利用多い。駐輪場は可能な限り多く・広く確保する。
- ・あいさつロードに面した駐輪場・駐車場

⑪その他次回のプランニングへの期待

開かれた施設

- ・市民が気軽に立ち寄れる仕掛けが欲しい。
- ・北側の道路の反対側にある公園も活用してはどうか。
- ・地域全体として道が狭い。広がりを感じる空間としたい。

緑化

- ・木や緑を作り地域の潤いの拠点としたい。
- ・あいさつロードの上を緑地帯にする。(C)
- ・あいさつロードに面して、菜園、ビオトープを設ける。

校舎

- ・C案は校舎が細い。ゆとりある先進的な空間ができるのか。
- ・校舎のプラン、1100人が入るのか。
- ・外構は学校らしいたたずまいに。
- ・エントランスは立派に。入ってすぐ下足箱は良くない。

その他

- ・屋上の上手な利用。例えばテニスコート、運動場など。
- ・コラボCの屋上は盆踊りができるようなスペースに。
- ・足を怪我する児童生徒も発生する。校舎にはEV必要。
- ・コラボCの自習室は学校の近くに設けたい。
- ・中学生教室は授業に集中させるためグラウンドと離す。
- ・小学生教室はグラウンド側に設けたい。

⑫跡地活用

- ・グラウンドが狭いなら、跡地など、別敷地での確保も。
- ・学校・公民館・図書館の跡地活用、役割、連携も考えたい。
- ・跡地は第2グラウンドや身近な防災拠点として活用する。
- ・跡地は地域サークル、放課後クラブ等の利用への配慮を。

⑬その他

- ・小中学校の施設の広さがどの位必要なのかわからない。
- ・前提として学校がなくなることが問題。
- ・子供連れでの図書館等の移動をより安全に。
- ・給食車輛の動線を確認したい。
- ・駅に至る動線は東側幹線ができたので問題にならない。
- ・病院があるのは安心。残して欲しい。病院敷地が狭い。
- ・南側地域は、借家が多い。高齢化により空家多い。
- ・忠魂碑は倒れそうで危険。
- ・敷地が小さい。隣地周辺の土地を買収して広げたい。
- ・南北の貫通通路も増やしたい。
- ・体育館は2つ必要。
- ・あいさつロードは8:30~9:30が混雑。自転車送迎多い。
- ・あいさつロードは祭りの際も通行量は増える。